

平成二十七年九月定例教育委員会会議録

鳴門市教育委員会 九月定例教育委員会は九月一日招集告示

九月八日十五時 市分庁舎教育委員会会議室で開会 同日十七時九分閉会した

一、出席者

教育長 安田教育長

委員 寺田委員 加藤委員 小松委員

事務局職員 荒川教育次長 天満教育総務課長 西條教育総務課副課長

その他職員 竹下学校教育課長 三栖生涯学習人権課長

一、傍聴者 なし

一、会議は 教育長が議事を進行した

一、議事の内容は次のとおりである

一、議案第五十四号 平成二十七年度教育委員会の所管に係る補正予算(案)について

一、議案第五十五号 鳴門市文化財保護審議会委員の委嘱について

一、議案第五十七号 鳴門市公民館長の任命について

一、議案第五十六号 鳴門市教育振興計画審議会委員の委嘱について

一、教育長は 十五時 九月定例教育委員会の開会を宣した

一、教育長は会議録の朗読を事務局に求めた

西條教育総務課副課長は 八月定例教育委員会の会議録を朗読した

一、教育長は会議録の承認について諮り 全委員異議なく承認した

一、教育長は 議案第五十四号 平成二十七年度教育委員会の所管に係る補正予算(案)について

事務局に説明を求めた

本件について 天満教育総務課長は 鳴門市議会に提出する 平成二十七年度補正予算案の

概要について 説明した

安田教育長は 繰越明許費の扱いについて 質問した

天満教育総務課長は 鳴門市では通常 繰越明許費については 当初予算では計上せず 事業の繰越が確実にになった時点で補正予算として計上している旨 説明した

小松委員は 小学校費の 公演に関する費用 について質問した

竹下学校教育課長は 本件は 劇団四季が 毎年 徳島文化センターで 心の劇場という公演を行っているが 同施設が使用できないことから 鳴門市文化会館で開催するための会場使用料等を負担することとなり その予算を増額補正する旨と 公演の開催予定について 説明した

寺田委員は 教育総務費の 旧川崎小学校体育館の解体設計について 質問した

天満教育総務課長は 旧川崎小学校・幼稚園は閉校後 地域住民や 少年サッカー等に使用されているが 体育館は 体育館としての使用ができず倉庫として使用していることから解体し 駐車スペースとして計画している旨 説明した

加藤委員は 幼稚園費の第三子免除について 質問した

竹下学校教育課長は 幼稚園の費用免除について 既存の国の制度に加え 徳島県が新規事業として 四月一日に遡り 十八歳以下の第三子を免除対象に拡大したことにより 私立幼稚園児に対する免除相当額を負担するため 補正する旨を 説明した

加藤委員は 旧川崎小学校体育館の解体設計に関連して 旧川崎小学校で J C I テレワークネットワークが予定している テレワーク事業と 大谷地区で現在実施している事業との関連について 質問した

天満教育総務課長は 旧川崎小学校では テレワーク事業の拠点や 講習会の施設としての使用を予定しており 大谷で行われている事業とは別である旨 説明した

加藤委員 堀江北幼稚園の耐震化又は改築について 来年度当初予算に向けて 教育委員会の方向性を示して欲しい旨 要望した

一、教育長は 議案第五十四号について諮り 協議の結果 全委員異議なく承認した

一、教育長は 議案第五十五号 鳴門市文化財保護審議会委員の委嘱について 事務局に説明を求めた

三栖生涯学習人権課長は 鳴門市文化財保護条例に基づく 本件審議会委員について 平成二十七年七月五日に 委員が死去したことに伴い 補充のため 新委員一名を委嘱したい旨 説明した

加藤委員は 徳島県指定の文化財の指定方法について質問した

三栖生涯学習人権課長は 徳島県の指定手続きについて 徳島県が全県調査して指定する場合 市町村が指定した文化財を比較して指定する場合 市の推薦を受けて指定する場合 の三通りが ある旨 説明した

一、教育長は 議案第五十五号について諮り 協議の結果 全委員異議なく承認した

一、教育長は 議案第五十七号 鳴門市公民館長の任命について 事務局に説明を求めた

三栖生涯学習人権課長は 平成二十七年八月二十五日付けで 北灘公民館長が辞職したこと

に伴い 同公民館運営委員会から選出された候補者を 後任の館長として任命したい旨 説明した

一、教育長は 議案第五十七号について諮り 協議の結果 全委員異議なく承認した

一、教育長は 議案第五十六号 鳴門市教育振興計画審議会委員の委嘱について 事務局に説明を

求めた

竹下学校教育課長は 鳴門市附属機関設置条例に基づき設置した 鳴門市教育振興計画審議

会委員のうち 鳴門市文化財保護審議会選出の委員が死去したことに伴い 文化財保護審議会

から選出された候補者を 後任委員として委嘱したい旨 説明した

一、教育長は 議案第五十六号について諮り 協議の結果 全委員異議なく承認した

一、教育長は 協議事項の 平成二十七年全国学力・学習状況調査結果について 本件調査結果

の活用及び公表等については、文部科学省「平成二十七年全国学力・学習状況調査に関する実

施要領」により、教育委員会の権限とされており 協議の結果によっては、非公表とする内容が

含まれるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第十四条第七項ただし書きの規定により、会議を非公開とする事について 委員の同意を求め 協議の結果 全委員異議なく承認した

一、教育長は 平成二十七年度全国学力・学習状況調査結果について 事務局に説明を求めた

竹下学校教育課長は 本市の調査結果について 説明した後 結果の公表について 新聞等で報道されている他市町村の方針等について 説明した

加藤委員及び 小松委員は 調査結果の分析と 利用方法について 質問した

安田教育長は 調査結果の分析や 学力向上の具体的な対策を検討し 実効性の高い取り組みを推進する 組織を立ち上げたい旨 説明した

加藤委員は 学力向上には問題を読み解く読解力の強化のため 小さい頃からの読書が大切だ という意見を述べた

寺田委員は 小学生の調査結果は 小学校六年間の授業の結果が現れている という意見を述べた

安田教育長は 学力向上は重要な施策であり 学力テストの点数は 指導要領の成果を見る指標として 情報公開 説明責任の点からも 公表される傾向にある しかし 単年度の点数や順位よりも 自治体の傾向として捉え 具体的な対策が伴った 情報として扱っていききたい 鳴門市教育委員会として 十一月以降に方向性が示せるよう 今後も協議を行っていききたいと 意見を述べた

一、教育長は 報告事項の説明を事務局に求めた

小野木体育振興室長は 生涯スポーツ推進事業補助金の創設について 説明した

加藤委員は 採択される事業全体の枠と 想定される件数について 質問した

小野木体育振興室長は 今年度の予算である六十万円が限度であり スマイルキズナ枠では実績から二件を ミニチャレンジデー枠では新規一件を 想定している旨 説明した

寺田委員は どのような経費が対象になるのか質問した

小野木体育振興室長は 本補助金はスポーツを行う活動の補助金では無く 皆さんにスポーツを楽しんでもらうためのイベント等の開催に必要な経費への補助金であり 実際に関催ができるかを審査して対象をとする旨 説明した

小松委員は この事業で体育館などを使用したいという要望があった場合は 支援いただけるのか質問した

小野木体育振興室長は そのような要望があれば 可能な範囲で協力したい旨 説明した
加藤委員は 鳴門市市営球場のナイター設備が ソフトボール仕様であることから ナイターで軟式野球ができれば需要があると思うが残念だという意見を述べた

一、教育長は 十七時九分 閉会を宣した

一、その他の事項は次のとおりである

一、教育長は 十月定例教育委員会を 十月七日十九時から 開催することを確認した